

デザイン支援 小池菓子舗

愛され続けて二〇〇余年。
地域のお菓子屋さん
新たな可能性に挑戦



デザインも含めて、高級路線で販売できると評価されたことが嬉しいです！

ふるさと納税への参加のため、新商品開発

にかほ市金浦で大正12年に創業した小池菓子舗。地域の方々に愛されるお菓子屋さんだ。現在は代表である3代目の小池嘉信さんと、4代目となる息子の信弘さんが営んでいる。和菓子和洋菓子を製造しており、看板メニューは鳥海山麓窯出しシュー。小ぶりでサクサクに焼き上げられたシュー生地の中に、注文してから詰めるトロリとした特製カスタードクリームがマッチ。シュークリームを目当てに遠方から訪れる客も多いという。

令和7年には、同業者の勧めでふるさと納税の返礼品として冷凍シュークリームの出品を決意。店舗で販売するシュークリームとは作り方が異なるため、新商品として一から開発を進めることとなった。冷凍用のレシピの開発とともに、商品パッケージのデザインができる業者について、商工会に相談した。パッケージを考えるにあたり、商工会は手始めに商品コンセプトを一緒に考えてくれる中小企業診断士を紹介。「シュークリーム界の女王を目指す」というコンセプトのもと、商品名は「シュークween」に決まった。

デザインを判断するための「基準」ができた

商品名の決定後、活性化センターのデザイン支援課による支援が開始された。

はじめに、さまざまなパッケージデザインを並べたポジショニングマップを提示し、商品のデザインイメージを絞り込んでいく意見交換会を開催。「それまでデザインの判断基準がわからず、デザインがぶれてしまうことも多かったので、意見交換会を通じて、商品の方向性や自分たちの好みを判断する『基準』ができたと思います。」と小池さんは振り返る。

ヒアリングを経て、「基準」を満たすデザイン会社の情報をいくつか提供し、小池さんが選定を行った。女性に好まれる高級路線を目指して作られたデザインは、満足のいく仕上がりとなった。現在はふるさと納税での販売が始まっているほか、関東のスーパーからの引き合いがあり、卸販売が始まっている。試行錯誤を経て進み出した新たな挑戦により、小池菓子舗のおいしさは秋田を超え、県外へと広がりを見せている。



こいけ のぶひろ
小池 信弘

小池菓子舗
〒018-0311
にかほ市金浦字十二林192-3
TEL:0184-38-4010
<https://koike-kashihohimjimdofree.com/>



HP

▶活用事例 デザイン支援

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言や、デザイナーとのマッチングを支援します。

【お問い合わせ】
知財・デザイン支援課
TEL.018-860-5614



サクサクで薄いシュー皮のなかに、トロリとしたカスタードクリーム。大人気の鳥海山麓窯出しシューだ。



店内で存在感を放つ真っ赤なオープン。その赤のイメージを商品パッケージに反映させている。



オープンで焼き立てのシュー皮は、まんまるで可愛らしいフォルム。小ぶりで食べやすいのも魅力のひとつ。